

8 川崎臨海部のグッドサイクル



川崎の臨海部では、これまでも様々な分野で、市民、企業、行政が連携・協力し好循環を生み出す取組みが行われています。20年度には、産業再生・都市再生・環境再生に向けた戦略的マネジメントの展開、神奈川口、水江町地内公共用地等への先端技術産業の集積に向けた支援制度の創設、環境技術の更なる進展と国際貢献に向けた(仮称)川崎国際環境技術展の開催、東扇島東公園の開園など、新たな取組みにも着手し、国際的なモデルとなる持続可能な産業地域をめざします。

地域資源

- ・世界最先端の技術やノウハウが集積した京浜工業地帯
- ・公害問題等に取り組んできた臨海部立地企業が有する優れた環境技術
- ・首都圏における立地優位性
- ・陸・海・空の交通結節点（首都高、アクアライン、港湾機能、羽田空港）

しかけ

- ・臨海部の戦略的マネジメント
- ・先端産業創出支援制度の創設
- ・産学公民連携による新たな価値づくりの推進
- ・リエゾン推進協議会
- ・羽田空港再拡張・国際化
- ・神奈川口構想の実現



様々な分野の取組み

- ・国際環境特別区構想の推進
- ・(仮称)川崎国際環境技術展の開催
- ・環境技術産業、先端産業の集積・進出
- ・水江町地内公共用地に先端技術産業を誘致
- ・ゼロエミッション工業団地
- ・東扇島東公園の開園
- ・港湾施設、事業所内、道路等の緑化
- ・物流機能の集積
- ・アジア起業家村での国際的起業人材の育成
- ・映画スタジオ等コンテンツ産業の進出
- ・市民劇による臨海部の歴史・文化の発信
- ・産業遺産の活用
- ・臨海部の個別課題の解決

波及効果

環境都市のシンボルとしての臨海部
 先端産業都市のシンボルとしての臨海部
 環境技術等による国際貢献都市
 新たな文化の発信
 市民が親しめる臨海部
 川崎全体の価値と魅力の向上
 新たな地域資源の創出



取組みの成果

- ・素材産業の高度化・高付加価値化
- ・企業間連携によるコンビナートの高度統合化
- ・研究開発拠点の集積
- ・企業活動の活性化（遊休地の減少）
- ・海外との技術交流、人材交流の促進
- ・国際的起業人材の川崎とのつながりによる活躍

平成20年度予算の内容

先端産業創出支援助成金	5,000,000千円
東扇島東公園開園イベント	21,978千円
港湾環境維持管理事業費	100,888千円
臨海部緑の環境調査事業費	3,000千円